

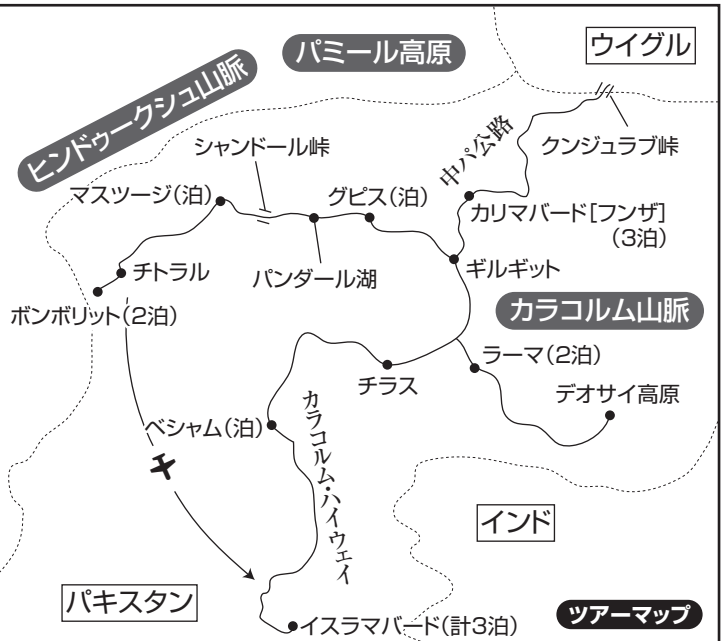
花のデオサイ高原とパキスタン北部大紀行 ～カンジュラブ峠から秘境チトラル王国へ



2018年 7月23日(月)発～8月6日(月)着…¥494,000
一人部屋利用追加料金 ¥48,000

花のデオサイ高原～ヒマラヤのお花畑

標高4,100mのデオサイ高原は「ヒマラヤの天空の花園」と呼ばれる、ヒマラヤ高山植物が楽しめる未開発の楽園です。7月上旬から8月中旬にかけてほんの一時期、手つかずの草花がいっせいに開花するヒマラヤの奥座敷です。運が良ければマーモットにも出会えます。



秘境チトラルのカラシュ族(カラーシャ族)

ヒンドークシュ山脈の麓に位置するかつてのチトラル王国の秘境・ボンポリットの3つの谷に暮らすカフィール・カラシュ族。彼らは現在でも町から遠く離れたヒンドークシュの山間で、イスラム教徒やキリスト教徒とは異なり、その起源をたどればヒンドークシュの謎に包まれた時代にまでさかのぼるような異教徒的な暮らしをしています。

彼らが自ら名の「カラシュ(カラーシャ)」とはペルシャ語で「極度に貧しき者」、「持たざる者」の意味で、「カフィール」とは無信仰者を意味します。ペルシャ世界の人々から見れば、イスラムでも、ヒンドゥーでも、ゾロアスターでもない不思議な人々だったのです。チトラルはカフィールに由来し、別名をカフィリスタンとも呼ばれます。彼らの起源については何も確かなことは分かっていません。ある部族は紀元前327年にこの地に侵入し、ギリシャに帰らなかったアレキサンダー大王の軍隊の子孫だと主張していますし、ある部族はイスラムの到来以前にアラビアからやって来たと言い、またある部族はアフガニスタンからの移民であると主張しています。近年、ギリシャの団体が事務所を置き、2340年の時を越えた同じ民族の交流が始まっています。現在のカラシュ族はビリール、パンブレット、ランブールの3つの谷に約3,000人が20の村を形成しています。命ある動植物の全てや収穫に対する信仰を含めた多神教を信奉し、音楽と踊りを愛し、季節のお祭りごとに異なった踊りを楽しみます。



デオサイ高原(イメージ)



デオサイ高原(イメージ)

ご旅行条件

- 募集人員/12名様定員
- 最少催行人数/6名様
- 全食事付/朝食13回、昼食13回、夕食13回
- パキスタン査証料・同取得手数料/¥7,500(別途必要)
- 査証用写真/2枚(4.5cm×3.5cm)
※カラー、スピード写真不可
- 旅券残存期間/6ヶ月以上/査証欄1ページ要
- 成田空港使用料/¥2,610(別途必要)
- 旅行代金には、海外の空港税・航空保安税・燃油サーチャージ、DSチャージが含まれております。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]
- ビジネスクラス利用追加料金:¥170,000(国際線区間のみ)
- ※成田発着:¥15,000引き
- ※大阪・中部・福岡発着:千歳発着と同一料金



トリチミール峰イメージ

ご利用予定ホテル

- イスラマバード/ヒルビュー、エンヴォイ・コンチネンタル、デバエ・ホテル
- ベシャム/PTDCモーター、ベシャム・コンチネンタル
- ラーマ/PTDCモーター、ロイヤルリゾート
- フンザ/ヒルトップ、フンザ・エンバシー
- グビス/PTDCモーター
- マスツージ/PTDCモーター
- チトラル/PTDCモーター、トリチミール

※上記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
※パキスタンは現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスをご提供できるよう万全の手配努力を致します。
※表記の「」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。印の食事は含まれておりません。

日次	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 成田 イスラマバード	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 朝、千歳空港より国内線にて、成田空港へ。 午後、成田より、パキスタン航空にて、イスラマバードへ[14:25発]。 着後、専用バスにて、ホテルへ[21:45着]。【イスラマバード泊】
2	イスラマバード ベシャム	朝はゆっくり出発し、専用バスにて、インダス河沿いに走り、ベシャムへ。 途中、マンセーラの町や棚田が広がる景色を見ながら走ります。 【ベシャム泊】
3	ベシャム チラス ラーマ	専用バスにて、カラコルム・ハイウェイを北上して、チラスを経由し、森や川に囲まれた美しい土地、ラーマ(海拔3,150m)へ。 【ラーマ泊】
4	デオサイ高原 (シュエサル湖)	朝、ジープにて色鮮やかなデオサイ高原(海拔4,100m)へ。 着後、高山植物が満開のデオサイ高原で、写真を撮ったり、散歩したりと存分にお楽しみいただけます。雄大なナンガパルバット峰、シュエサル湖、そして吊り橋を渡り、高原の奥に広がる360°のヒマラヤ山脈のバノラマもご覧いただけます。可愛らしいマーモットにも出会えるチャンスです。 夕刻、ジープにて、ラーマに戻ります。 【ラーマ泊】
5	ラーマ フンザ	専用車にて、カラコルム・ハイウェイを走り、フンザの中心地で、ウルタル峰[7388m]、ディラン峰[7273m]などパミールの高峰に囲まれたフンザのカリマバード(2438m)へ。 途中、ラカボシ・ピーク[7788m]のビューポイントに立ち寄ります。 【フンザの谷・カリマバードに3連泊】
6	フンザ (ドゥイカル村) (ホバー氷河)	早朝、ジープにてフンザを見下ろすドゥイカル村の高台(サンライズのビューポイント)へご案内します。朝日に照らされる「ゴールデン・ピーク」、「スリーピング・ビューティー」、「レディー・フィンガー」など、カラコルムの7,000m級の山々をお楽しみください。 午前、ジープにて、フンザの対岸にあるナガール村へ向かい、ホバー氷河へ。途中、バルフ氷河やゴールデンピーク(7,200m)がご覧いただけます。 午後、カリマバードに戻り、アルチット故城の訪問や、バザールの散歩などフンザの里の散歩をお楽しみください。【フンザ・カリマバード泊】
7	フンザ (クンジュラブ峠) (ポリト湖)	午前、中バ公路を走り、中国との国境にあるクンジュラブ峠(4,943m)へ。 午後、カラコルムの山々に囲まれて、時間帯によって色を変える静かな湖・ポリト湖や、鋸の歯のような岩峰群が印象的な「バスー・カテドラル」の別名を持つカールンホー山群を眺むフサニ村へご案内します。夕陽に染まるパミールの山々もお楽しみいただけます。【フンザ・カリマバード泊】
8	フンザ シェールキラ グビス	午前、フンザ川沿いにカラコルム・ハイウェイを走り、ギルギットへ。 昼食は中華料理です。 午後、緑の繁るシェールキラ村を経由し、雪山を眺めながら渓谷を走り、かつての小国・グビスへ。 【グビス泊】
9	グビス パンダール湖 シャンドール湖 シャンドール峠 マスツージ	午前、ギザル川沿いに走り、小カシミールと呼ばれるならかな平地に出れば、氷河が作った美しく青いパンダール湖が現れます。 午後、緑の草地を走り、シュカルガー村から5,000m級の山々がその影を湖面に映すシャンドール湖へ。その後、シャンドール峠(3,720m)を越え、中央アジアの雰囲気漂うかつての独立国・マスツージへ。 【マスツージ泊】
10	マスツージ チトラル ボンポリット	午前、マスツージ川に沿って、古来から使われてきたインドへの道を通り、パキスタン北西辺境州最西端の山中にある、かつての独立国・秘境チトラルへ。 お天気が良ければ、ヒンドークシュ山脈最高峰、標高7,760mのトリチミール峰の雄姿もご覧いただけます。その後、チトラル王国のボンポリットの谷へ。 【チトラルのボンポリットに連泊】
11	カフィリスタン (パンブレット谷) (ビリール谷)	終日、独特の民族衣装、習慣をもつカラシュ族が生活する「異教徒の国」カフィリスタンの村巡りへご案内します。カフィリスタンにはビリール、パンブレット、ランブールの3つの谷に20の村があり、約3,000人のカラシュ族が暮らします。黒地にカラフルなビーズや子安貝をちりばめた美しい民族衣装を身につけたカラシュ族の村の散歩をお楽しみください。カラシュ族の踊りもご覧いただけます。 【チトラル・ボンポリット泊】
12	ボンポリット チトラル イスラマバード	午前、チトラルの街へ。バザールの散歩や城塞、モスクへご案内します。 午後、航空機にて、イスラマバードへ戻ります。 【イスラマバードに連泊予定】
13	イスラマバード	予備日です。前日の航空機がキャンセルになった場合、陸路でイスラマバードまで移動します。順調に飛行した場合は、イスラマバード(ラウルピンディ)の市内観光です。 夕食は中華料理です。 【イスラマバード泊】
14	(ケウラ塩鉱) イスラマバード	出発まで、イスラマバード南郊外の世界最大級の岩塩鉱・ケウラ岩塩鉱山を見学。「ヒマラヤの塩」としても有名なピンク・ソルトが、ライトがあたるとプラネタリウムのようにキラキラ輝く坑内をトロロク電車も使って観光します。岩鉱内には、岩塩で作ったバード・シャビー・モスクやミナレットもあります。夜、パキスタン航空にて、帰国の途へ[22:55発]。【機中泊】
15	成田 千歳	午後、成田空港到着[12:55着]。午後、国内線にて、千歳へ。 夕刻、千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅